

920MHz帯電子タグシステム等作業班における具体的な検討項目

■ 周波数の使用方法の見直し【アクティブ系】

狭帯域の周波数利用を可能とするため、単一の単位チャネル(200kHz/100kHz)を使用する場合における周波数の使用方法について検討（周波数の許容偏差等の見直し）

■ その他技術基準の見直し【パッシブ系／アクティブ系】

① 電波の型式の見直し【パッシブ系／アクティブ系】

パッシブ系：新たな電波の型式(P0N及びQ0N)の追加等の検討

アクティブ系：音声データ通信への対応の検討

② 送信時間制限の緩和【アクティブ系】

多様化する通信ニーズを踏まえ、送信時間制限(総和360s/h以下: Duty10%)について技術基準の見直しを検討

③ 空中線利得等の緩和【アクティブ系】

柔軟なシステム構築を可能とするため、現行のEIRPの基準値を上限として、低利得アンテナの使用時における空中線電力の増力について検討



既存無線システムの運用に配慮しつつ、利用ニーズに適した技術基準の見直しを検討